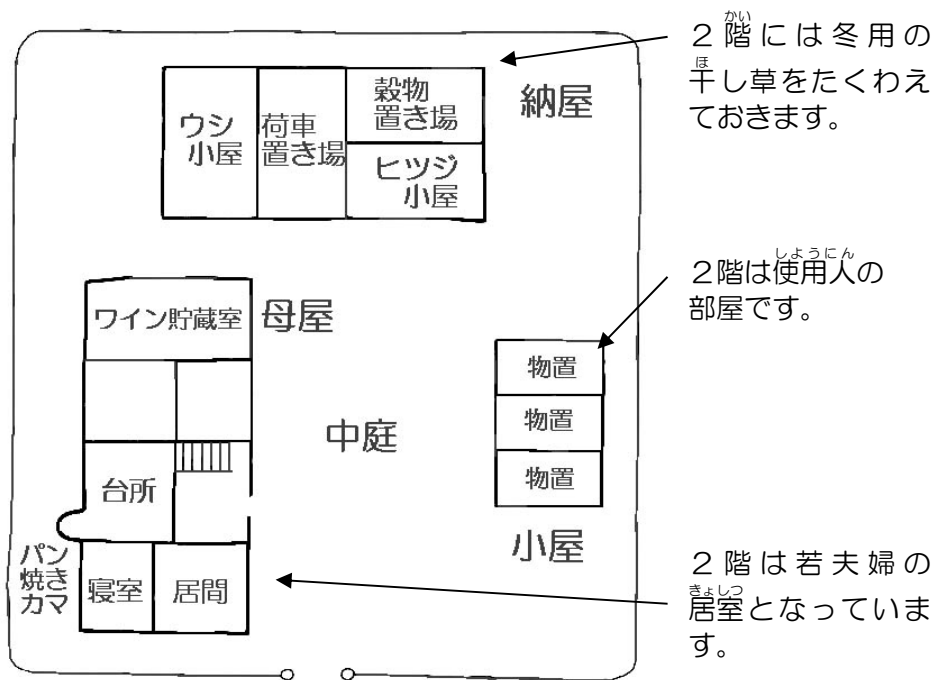


フランス アルザス地方の家

フランス^{とうほくぶ}東北部、ドイツと^{こっきょう}国境^{せつ}を接するアルザス地方で、ウシやヒツジを飼うとともに、ムギ、ジャガイモ、トウモロコシ、ブドウなどを栽培している農家を復元^{ふくげん}しています。

庭を囲むように母屋、納屋、小屋を配置し、1850年代、アルザスの農村に伝統的な暮らし^{さいげん}が残っていた時代の様子を再現しています。



【内陸性の気候】

パリから東へ500kmにあるアルザス地方は、西にヴォージュ^{さんみやく}山脈があるため、大西洋の影響^{えいきやう}をあまり受けず、やや内陸性の気候となっているため、雨は年間800mmほどと比較的^{ひかくてき}少なく（リトルワールドのおよそ半分）、夏暑く、冬寒い土地柄^{がら}です。

アルザスの伝統衣装

アルザス地方の女性の伝統衣装は、ギャザースカート、黒い胸飾りがついたブラウス、頭には蝶結びのリボンをつけたものが一般的です。リボンをつける習慣は、19世紀初めから広まったとされています。男性は、黒いズボンと上着、赤いベストを着て、帽子をかぶります。女性のリボンは信仰する宗教によって大きさが異なり、大きいものはプロテスタント、小さいものはカトリック教徒であることを表しています。



出典：「Mon Village」, Hansi

コロンバージュ（木骨構造）の家

母屋は、1582年に建てられたものです。リトルワールドへ持ってくるために解体した1985年まで、9代にわたって住まれていました。3階建て、白いしっくい壁に柱や筋かいなどが浮き出ている点が特徴です。このような建築様式は、中部ヨーロッパ独特のもので、コロンバージュ（木骨構造）と呼ばれています。筋かいには、「ムギの穂」や「アンドレの十字架」のデザインが見られます。



さがしてみましょう

雨戸にあいたハート型の穴は、明かりとり。
また、邪視をふせぐ魔よけの意味ももっています。

